（社）兵庫県サッカー協会

公 式 記 録

平成18年度兵庫県高等学校総合体育大会サッカー競技　準決勝 【160】

主審署名	辺 見 康 裕

日時	2006 年 6 月 4 日（日） 13 ： 00 キックオフ	会場	兵庫県立三木総合防災公園陸上競技場
天候	晴	風	弱	ピッチ	(芝) ・ クレー	状態	(良好) ・ 不良 ・ 泥沼	試合形式	70 分 / 延長 20 分 PK戦 有
ﾏｯﾁｺﾐｯｼｮﾅｰ		会場主任	神原 吾朗	記録	茨木 伸之 ／ 田坂 昌彦	観衆	500 人
主審	辺見 康裕	副審1	松山 典章	副審2	田村 孝次	第4の審判員	木虎 賢二

チーム名	kick off				チーム名	kick off
神戸国際大学附属高校 先	1	0 前半 0 / 1 後半 0 / 延前 / 延後 / PK戦	0		先 神戸弘陵学園高校	
背番号					背番号	
○ ×					○ ×	

交代 No.	交代 時間	シュート 延後	シュート 延前	シュート 後半	シュート 前半	得点	選手名 (学年)	番号	位置	位置	番号	選手名 (学年)	得点	シュート 前半	シュート 後半	シュート 延前	シュート 延後	交代 時間	交代 No.
	分						吉川 裕貴 3年	1	GK	GK	12	斎藤 圭佑 3年						分	
	分						一岩 宏樹 2年	4	DF	DF	5	小田 将吾 3年						分	
	分			1			真壁 亨平 2年	3	DF	DF	2	熱田 拓也 3年						分	
	分			1		1	福田 俊太 3年	5	DF	DF	19	小谷 直史 2年			1			分	
	分						宗和 慶介 2年	14	DF	DF	16	菅田 剛史 3年						分	
	分				1		臼井 仁志 3年	7	MF	MF	13	菊田 裕之 3年						分	
	分			1			福田 修平 3年	10	MF	MF	17	松田 浩輝 3年						46 分	7
	分						藤田 浩平 2年	6	MF	MF	8	寺光 峰竜 3年			3			分	
13	65 分						天清 昴 3年	8	MF	MF	9	岡原 秀彰 3年		1	2			分	
9	HT 分				3		大西 僚 2年	16	FW	FW	10	田中 脩志 3年		1	1			分	
	分			1	2		右近 康平 3年	11	FW	FW	11	中川 篤 3年			1			分	
	分						増本 圭介 1年	21	GK	GK	1	川北 直人 2年						分	
	分						谷口 将哉 3年	15	MF	DF	3	佐々木 紀之 3年						分	
	分						藤吉 崇 3年	2	MF	MF	7	宮本 健二 3年			1			分	
	分						後 正義 3年	18	DF	MF	6	大喜多 佑哉 3年						分	
	分						鮫島 勉 3年	13	FW	MF	14	松本 高明 3年						分	
	分						船引 淳司 3年	9	FW	FW	15	有田 雄貴 2年						分	
	分						山中 輝優 2年	19	DF	DF	4	後藤 大晃 3年						分	
	分						宮野 翔吾 2年	20	FW	DF	18	丸添 亮 3年						分	
	分						山本 貴大 2年	22	DF	MF	20	土井 克也 2年						分	

時間	警・退	No.	氏名	事由
24 分	警	5	福田 俊太	反スポ
分				
分				
分				
分				
分				
分				
分				

八木 重光	合計	延後	延前	後半	前半
	10			4	6
	6			2	4
	4			1	3
	10			3	7
	9			5	4
	8			5	3
	0			0	0

監督	谷 純一	前半	後半	延前	延後	合計
チーム合計		2	9			11
シュート		2	2			4
ＧＫ		1	3			4
ＣＫ		2	1			3
直接ＦＫ		5	4			9
間接ＦＫ		5	4			9
(ｵﾌｻｲﾄﾞ)		0	0			0
ＰＫ						

時間	警・退	No.	氏名	事由
25 分	警	10	田中 脩志	異議
分				
分				
分				
分				
分				
分				
分				

得点経過

時間	チーム	No.	得点者	スコア	［得点経過］ 略号例：ドリブル～・ゴロのパス→・浮き球∩・混戦×・ヘディングH・シュートS
69 分	神戸国際附	5	福田	1 － 0	中央 7 ∩ 左 10 ～ ∩ 中央 5 S
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	

戦評

戦評者　所属 【 県立宝塚高校 】　氏名 【 吉田啓夫三 】

好天に恵まれ良好なピッチの中、神戸国際附４－４－２、神戸弘陵４－３－２－１のシステムでゲームが始まる。立ち上がりより神戸国際附ＦＷ⑪右近、ＭＦ⑩福田が中央突破からチャンスをつかむ。また、終始ＭＦ⑥藤田のポジショニングの良さが神戸弘陵の攻撃を遅らせる。一方、神戸弘陵はＦＷ⑧寺光を中心に、また⑧寺光の空けたスペースでＭＦ⑨岡原、⑪中川がボールを受け、チャンスをうかがう。前半はボールキープ率に勝る神戸国際附がペースを握った。後半、神戸国際附はＦＷ⑨船引を入れ、高さを武器に攻撃に厚みを増すかと思われたが逆に神戸弘陵はＦＷ⑧寺光を徹底してＤＦラインの裏へ走らせ、決定機を迎える。後半４６分、神戸弘陵はＭＦ⑦宮本を投入し中央、両サイドを突破、再三のチャンスを作るが決定力に欠ける。終了間際カウンターからのワンチャンスをゴールに結びつけた神戸国際が勝利を収めた。

［備 考］